

インターネット利用のためのルール作りに向けての留意点及びルール例

和田小学校

利用時間

【留意点】睡眠時間・学習時間を削って利用する傾向にあるため、利用時間を制限することが必要になる。

【ルール例】1日1時間以内にする。9時以降は使用しない。 など（和田小学校ルール4条で策定済み）

利用のマナー

【留意点】公共の場での社会のルールやマナーを守る、

【ルール例】歩きながら使用しない。自転車に乗りながら使用しない。公共施設（電車、図書館、病院、バスなど）での使用はひかえる。 など

他人への思いやりや配慮

【留意点】文章の読み手や連絡相手の状況、気持ちに配慮することが必要である。

【ルール例】自慢話、他人の悪口、人のいやがることなどを書き込まない。メール等の即時返信を強要しない。メールやメッセージは相手の迷惑にならないように相手の立場に立って書く。大事なことは直接相手に伝える。 など

利用サイト・機能の制限

【留意点】年齢や発達段階に応じて、利用サービスや機能を制限することが必要。フィルタリングは必須である。

【ルール例】有料アイテムやアプリは購入しない。オンラインショップで買い物をしない。SNSは利用しない。怪しいホームページにはアクセスしない。アプリをダウンロードをする時は親と話し合って決める。 など

危険の回避

【留意点】ネット上には危険がいっぱい。安全のための約束をしておく。

【ルール例】ネットで知り合った人と会わない。知らない人のメールに返信しない。顔写真や氏名、住所など個人を特定できる情報を公開しない。連絡を取る相手は親の知っている人だけにする。IDやパスワードを安易に人に教えない。 など

利用場面の制限

【留意点】制限をしないといつでもどこでも使用することにもなりかねないので歯止めが必要である。

【ルール例】 やるべきことを優先する。学習中はさわらない。食事中や入浴中は使用禁止とする。人が集まっている時などは利用をひかえる。自分の部屋に持ち込まない。居間（家族のいる部屋）で使用する。 など

ルールを守れなかった時の対応

【留意点】 機械的に罰を与えるのではなく、考えさせる機会を持ちたい。同時に、ルールを変えたい場合は親に相談することも約束しておくとうい。

【ルール例】 ルールを守れなかった時、何が悪かったのか話し合う。それでも守れなかった時は〇〇日間利用禁止。利用禁止を〇回繰り返した時は契約を解除する。 など

保護者の監督

【留意点】 機器は保護者が貸し与えているという原則を押さえた上で、保護者が履歴の確認をし利用を管理する監督権を持つておくことが大事である。

【ルール例】 パスワードはかけない。いつでも両親に見せられるようにする。みんなのいる部屋で使用する。週に一度利用状況を確認する。 など

家族で作ろう
我が家の
インターネット使用ルール

